

= 支部だより =

東北支部

積雪観測講習会の開催報告

1. はじめに

本学会東北支部および(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所主催の積雪観測講習会が下記の要領で秋田県立田沢湖スポーツセンターにおいて開催された。会場は標高約 600 m の高原地帯であったため、暖冬にもかかわらず、ざらめ雪に混じって、前日積もった新雪や十分な厚さのしまり雪層があった。参加者は、コンサルタント会社社員 4、スキー場・山岳パトロール隊員 2、大学教員 1、高校教員 1、定年退職者 1、学生 5 人(うち 1 名は社会人学生)の計 14 人であった。県別では青森県と岩手県からそれぞれ 1 人の他は秋田県内からの参加であった。

記

日時：2009 年 2 月 13 日(金)

場所：秋田県立田沢湖スポーツセンター

主催：(社)日本雪氷学会東北支部

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター 新庄支所

共催：日本雪工学会北東北支部、秋田雪の会

2. プログラム

8:30 受付開始

9:00 開会の挨拶

佐藤 威(防災科研雪氷防災研究センター新庄支所長)

伊藤 駿(日本雪工学会北東北支部長)

9:10~10:00 基本学習 佐藤 威

10:00~11:00 野外実習(積雪断面観察)

11:00~12:00 野外実習(積雪データの測定)

12:00~12:45 昼食

12:45~14:30 室内実習(積雪データの整理)

14:30 閉会の挨拶

阿部 修(日本雪氷学会東北支部副支部長)

3. 講習内容

基本学習では佐藤講師より、「雪の性質を知る」および「災害時の雪」について講義があり(図 1)、その後近くのテニスコートで 3 つのグループごとに講師による積雪断面観察および受講生自らによる同様の観測が行われた(図 2)。観測項目は、雪温、雪質、密度、積雪相当水量、および硬度であった。なお、雪質の観測には 20 倍の実体顕微鏡を用意したが、ルーペよりはるかに見やすく、はじめて



図 1 基本学習。



図 2 受講生による積雪断面観測。



図 3 観測データの整理.

参加した受講生の雪質の判別に役立った。昼食後は観測データを持ち寄り、図にプロットし(図3)、お互い確認した上で終了となった。

4. おわりに

職業、年齢が異なる受講生が協力して観測する様子は微笑ましいものであった。アンケートによれば、役に立ったという好意的な意見がほとんどであった。来年、同様の講習会が開催されれば会社の同僚にも受けさせたいという意見や同様の講習会を学校や教師グループに出前で実施してもらえないかという意見があった。また、その後早速自分で試してみたというメールをいただいた。講師は、伊藤 駿(国立秋田工専名誉教授)、佐藤威(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)、阿部 修(同)および沖田圭右(日本地下水開発株式会社地盤環境部調査グループ)が務めた。

阿部 修(防災科学技術研究所)
(2009年3月4日受付)

北信越支部

『雪氷北信越』第29号発行のお知らせ

北信越支部では活動報告や研究発表会・製品発表検討会の予稿集を掲載した機関誌「雪氷北信越」第29号の発行を6月に予定しています。「雪氷北信越」は昨年(2008年)の第28号より、当支部ホームページ(<http://www.seppyo.org/~hse/>)にて自由に閲覧できるようになりましたので、冊子は支部内外を問わず有料(1冊2000円+送料)で頒布しています。冊子の送付をご希望の方は、下記の必要事項を電子メールに記載してお申し込み下さい。お支払いは、冊子の到着後に郵便振替でお願いします。

【冊子申込必要事項】

- 1) 氏名
- 2) 送付先住所
- 3) 連絡先電話番号
- 4) 発行年度(例:2009年度分)
- 5) 必要部数

冊子申込の送付先: hse-editor@seppyo.org

「雪氷北信越」編集委員会宛

予約申込の締切: 2009年5月29日(金)

*締切後でも、残部があれば承ります。

*バックナンバーの送付も承りますので、ご希望があれば同時にお申し込み下さい。

問い合わせ先: 北信越支部幹事 竹内由香里
(森林総合研究所十日町試験地 気付)

Tel: 025-752-2360, Email: yukarit@affrc.go.jp

(2009年4月14日受付)